

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問0～問15

問0.夏に遊びに行くなら海と川どっち！？			
	回答数	%	
海	130	36.4	
川	109	30.5	
畑	1	0.3	
両方	2	0.6	
無回答	116	32.5	100.3
計	358	100	

問1.あなたの年齢を教えてください。			
	回答数	%	
20歳未満	16	4.5	
20歳代	23	6.5	
30歳代	40	11.2	
40歳代	78	21.8	
50歳代	57	16	
60歳代	84	23.5	
70歳以上	58	16.3	
無回答	2	0.6	100.4
	358	100	

問2.あなたの住んでいる地区を教えてください。			
	回答数	%	
栗生	9	2.6	
中間	10	2.8	
湯泊	4	1.2	
平内	14	4	
小島	4	1.2	
尾之間	25	7	
原	12	3.4	
麦生	10	2.8	
高平	9	2.6	
平野	8	2.3	
春牧	14	4	
安房	24	6.8	
松峯	11	3.1	
船行	9	2.6	
永久保	2	0.6	
長峰	9	2.6	
小瀬田	19	5.4	
榑川	5	1.4	
楠川	8	2.3	
宮之浦	52	14.6	
志戸子	12	3.4	
一湊	18	5.1	
吉田	52	14.6	
永田	10	2.8	
本村	5	1.4	
湯向	0	0	
無回答	3	0.9	101.5
	358	100	

問3.今回の(第2次)振興計画では、前回の(第1次)振興計画と同様、「悠久の流れの中で、自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、人々の営みが循環・持続していくまち」を基本理念として提案し、これに基づいて様々な施策・事業に取り組むこととしています。あなたは、このように設定された基本理念についてどう思いますか？			
	回答数	%	
良い	163	45.6	
どちらかというが良い	120	33.6	
どちらかという良くない	17	4.8	
良くない	11	3.1	
わからない	45	12.6	
無回答	2	0.6	100.3
	358	100	

問4.今回の(第2次)振興計画では、今後10年間で取り組む重点目標として「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」と設定し、この目標に向かって各種施策・事業に積極的に取り組むこととしています。あなたは、このように設定された重点目標についてどう思いますか？			
	回答数	%	
良い	182	50.9	
どちらかというが良い	123	34.4	
どちらかという良くない	14	4	
良くない	11	3.1	
わからない	26	7.3	
無回答	2	0.6	100.3
	358	100	

問5.現在の屋久島町に不足しているものは何だと思えますか？			
	回答数	%	
市街地居住環境の良さ	19	5.4	
町内産業の雇用機会	90	25.2	
シンボル施設	6	1.7	
自然環境負荷の軽減	19	5.4	
買い物や生活の利便性	44	12.3	
道路や公園等の公共施設	19	5.4	
地域のコミュニティ活動	13	3.7	
高等教育施設	10	2.8	
医療体制や高齢者の福祉施設	56	15.7	
防災や防犯等の安全対策	29	8.2	
不足しているものはない	2	0.6	
その他	39	10.9	
無回答	12	3.4	100.7
	358	100	

問6.屋久島町に親しみを感じている場所を教えてください。			
	回答数	%	
屋久杉の景観等を含む山々	122	34.1	
海水浴場等を含む砂浜	36	10.1	
河川	22	6.2	
空港・港等、島の玄関口	2	0.6	
温泉	31	8.7	
遺跡・神社等	10	2.8	
イベントやお祭り	39	10.9	
大規模な公園	2	0.6	
峡谷や滝等、水と接する場所	52	14.6	
商店街	2	0.6	
その他	30	8.4	
無回答	10	2.8	100.4
	358	100	

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問0～問15

問7.今後10年間のまちづくりの方向を考えたとき、どんなイメージのまちになってほしいと思いますか？			
	回答数	%	
自然環境が豊か	142	39.7	
田園地帯の農業中心	26	7.3	
学園中心	10	2.8	
近代的産業中心	13	3.7	
観光・商業中心	49	13.7	
安全快適な住宅地中心	44	12.3	
文化・趣味に楽しめる	42	11.8	
その他	23	6.5	
無回答	9	2.6	100.4
	358	100	
問8.屋久島町の都市基盤整備で、今後何に重点を置くべきだと思いますか？			
	回答数	%	
幹線道路の整備	9	2.6	
日常利用道路の整備	46	12.9	
公園・緑地の整備	17	4.8	
定住者支援住宅の整備	37	10.4	
下水処理等生活環境整備の推進	54	15.1	
観光拠点の整備・再整備	29	8.2	
農業体制の基盤整備	29	8.2	
高速通信網の確立	73	20.4	
港湾、空港の整備	40	11.2	
その他	17	4.8	
無回答	7	2	100.6
	358	100	
問9.屋久島町的生活環境について、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
自然災害対策	70	19.6	
水道・電気等生活施設	33	9.3	
交通拠点の利便性向上	26	7.3	
暮らしやすさの向上	61	17.1	
環境保全・緑地の整備	14	4	
医療・福祉施設の整備	75	21	
防犯灯安全性の向上	2	0.6	
通信施設の整備	60	16.8	
その他	12	3.4	
無回答	5	1.4	100.5
	358	100	
問10.屋久島町の保健・医療について、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
健康診断等の予防対策	42	11.8	
スポーツ等健康づくり	53	14.9	
食品衛生の指導・取締	6	1.7	
医療・保健施設の充実	82	23	
医師の十分な確保	124	34.7	
休日・夜間診療の充実	33	9.3	
その他	14	4	
無回答	4	1.2	100.6
	358	100	
問11.屋久島町の福祉について、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
児童福祉施設の充実	43	12.1	
母子(父子)家庭援助	15	4.2	
高齢者の生きがい対策	69	19.3	
高齢者福祉施設の充実	58	16.3	
心身障害者福祉の充実	34	9.5	
低所得者福祉の充実	41	11.5	
民間ボランティア育成	31	8.7	
学童保育クラブの充実	38	10.7	
その他	16	4.5	
無回答	13	3.7	100.5
	358	100	
問12.屋久島町の学校教育について、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
小・中教育環境の充実	118	33	
小・中学校区の再編成	46	12.9	
個別学力・情操教育の向上	72	20.2	
高校・専門・大学誘致	38	10.7	
学校毎に特色ある教育	46	12.9	
幼児教育の充実	15	4.2	
その他	18	5.1	
無回答	5	1.4	100.4
	358	100	
問13.屋久島町社会教育について、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
青少年講座の充実	85	23.8	
勤労者講座の充実	54	15.1	
女性講座の充実	16	4.5	
高齢者講座の充実	60	16.8	
町民サークル活動の育成	108	30.2	
その他	18	5.1	
無回答	17	4.8	100.3
	358	100	
問14.屋久島町の文化・スポーツレクリエーションについて、何に力を入れるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
レクリエーション施設の整備	61	17.1	
イベント拠点施設の整備	20	5.6	
公民館等の整備充実	57	16	
図書館の建設	49	13.7	
美術館の建設	1	0.3	
文化ホール建設	18	5.1	
民俗資料館の充実	11	3.1	
民間文化・郷土芸能の承継	38	10.7	
スポーツ活動・大会の開催	21	5.9	
音楽会・演劇・講演会の開催	37	10.4	
町民文化団体の育成	9	2.6	
その他	20	5.6	
無回答	16	4.5	100.6
	358	100	

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問0～問15

問15.屋久島町の今後の自然と産業振興の関係について、何を中心に進めるべきだと思いますか？			
	回答数	%	
体験型観光等の観光振興	41	11.5	
島内資源を活用した地域産業の振興	106	29.7	
観光と地域産業の連携	109	30.5	
環境保護活動の啓蒙・教育	36	10.1	
これ以上環境を利用せず、保護に努める	38	10.7	
その他	12	3.4	
無回答	16	4.5	100.4
	358	100	

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？

集落ごとの孤立化を防ぐ。

子供たちが島内で働けるよう、企業誘致や地場産業などを豊かにして人口増を目指す。

屋久島高校の進学率を高める。屋久高の定員が満たされることにより、文化、教育、産業、人口増等に波及効果があるのではないかと思う。

高齢者の働く場を増やし、高齢者の収入が増えることで、若者の負担を軽くする。高齢者の生き甲斐や体力づくりにつながる。地産地消になる事業だとよりよいと思う。

観光等、一時的な滞在に対しては体制を持っていると思いますが、転入者に対しての体制を実現することが、人口確保、財源確保につながると思います。

生活していく上で収入がないとダメなので、若い人たちの働く場所、所得向上が必要。

人口減少、少子化対策に向けた、若者が働ける環境づくり、企業誘致などの施策を充実してほしい。

集落では案外こういった話し合いをすることが多いので、町や行政がもっと集落に入り込まないといけないと思う。

人々がもっと暮らしやすくなるように、公共施設や介護ホームなど、高齢者や今の人々に負担がかからないようなまちづくりを目指していけばよいと思う。

島内で育った子供たちを、いかに島内に居住してもらえるようにするか。

島の原点を踏まえた施策の実行。

ふれあいを大事に！

集落の行事を増やす。

人との関わりを増やす！

呼びかけをする

箱物を作らないことです。広大な運動場、公園は屋久島に不要です。いずれも町民のごく普通の日常に重要なものではありません。町民が普通の暮らしを、安定して安価にできる環境整備を第1にすれば、それを土台に豊かなプラスアルファの知恵が出てくると思います。

医師の確保、産婦人病院。

Iターンの定住人口を増やす。外国人の定住を促進。

働く人についての対策。観光との結びつき。

若年層の定着を考えること。中高生に屋久島の現状と将来について教育活動を進めること。

屋久島高校の魅力アップ。集落コミュニティの充実。

医療、福祉の充実を図り、人口減となるのだから、元気な高齢者を増やし、彼らに働いてもらう。(シルバー人材センターの充実)

企業誘致をはじめ、雇用の場、機会の充実を図る。若年層の定住が促進できるような働く場、高齢者が健康作りを兼ねた働く場の提供、仕組みづくり。

自給自足的な環境づくり。島内ですべてがまかなえるような設備、施設、仕事等を考えていく。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思えますか？
人口減が進むと思うので、人口の目標数を設定してほしい。若者人口の流出が進むと思うので、移住者の促進を図ってほしい。
移住者を呼び込むこと。
企業を誘致し働く場所を確保する。農業の生産力向上を図る。換金作物を導入する。
子育て、教育の充実のための補助を。
人に呼びかけをする。
教育の充実、雇用の確保、医療の充実(整形外科)。路線バスは小型化、電気自動車化にして、本数を増やしてほしい。
「限られた財源」に取りくんでください。人口を増やすには、仕事、雇用が必要。新たな事業を始める際、地元集落の理解を得られる橋渡し、相談窓口がほしい。高齢化で放置される果樹園の担い手を募る。全てに補助金を出す必要はないと思うが、補助する方法を考えてほしい。
定住者を増やし(20代30代)、若い世帯が暮らしやすい集落。
屋久島で子育てのしにくい環境が加速を招いている要因の一つにあると思う。もっと町も子育て、子供のことに目を向けてほしい。そうでなければ将来は超高齢化社会になってしまう。
少子化は厳しい問題で解決は難しく思います。荒れた田畑を目にします。農業希望者を待遇良く迎え入れる案はないでしょうか？その場の男女の交流で、少子化問題も多少クリアできないでしょうか？
加速する人口減少(若い人の職場)
人口減少の歯止めをして、少子化を抑えるためには子どもをつくる運動が必要と思われる。その為にも、子どものできる世帯に対して、4~5名以上の出産が必要である。3人以上の出産があれば、手当を増やしてやるべきと思う。1人、2人は当たり前であるので、手当は必要でない。
1. 結婚適齢者及び独身の人々に結婚の機会を与える施策。 2. 産めよ増やせよの推進の為に町が助成金を支給する施策。
働ける場所の確保。高齢者の方々の年金の保障。(最低保障)
民生委員の人だけでなくボランティア活動を募って、一人暮らしの手助けをできるようにメンバーを集めたらいいかな？たくさんの方が集まると、1週間に1度くらいお手伝いできますよね。
人口減少の歯止めとして、婚活イベント、子育て支援の展開・充実を図る。
地域のエゴに左右されない、大局的見地に立ったまちづくり
以前の活性化事業のように、各集落に独自性を持って特徴ある施策を促すべき。現在の創生事業の額では、中途半端で何をやって良いか苦慮しているのが現状ではないか。
地域産業の育成。「屋久島ブランド」を活かせるような特産物を育て、広く発信していく。農業の大規模化等。
限られた財源のムダ使いをやめて、意義のあることに有効に使うこと！ムダ使い→新庁舎。
空港を早期にジェット化し、交流人口の増を図る。(定住にも繋がる？)
町民に対し、町の状況を積極的に伝える(財政状況など)
企業進出。地元の方を取り戻せ！

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？
人材育成(リーダー)
人口減に歯止めをかける(できたら増に)施策を強化する。
私の住む地区は高齢化により、80歳を過ぎても未だ畑(みかん)の手入れをしなければならない状況。後継ぎが無く(あるいは島外におり)、専業農家の年金だけで生活するのは大変だろうと(医療―鹿児島へ行っての治療の交通宿泊費etc)思う。島外からの季節ボランティア(みかんの収穫時期は特に)を集め、公民館等を宿泊施設として開放し、食費や交通費の援助をし、若者(特に休み中の大学生等)を集める体験滞在を企画。この経験を通して島外からの若い世代の移住を期待できるのでは。
環境保護の為、農薬除草剤を無くす。ミカンから野菜作りに変えて町内で消費するシステムづくり。(地産地消)海の汚染で魚も減っています。釣り人ガックリ。
移住者の促進。移住者の促進のための居住地区の充実。
子供を産み育てやすい環境の整備。若者が働ける場の確保。移住者が増えるような環境の整備。
平気で予算オーバーしてしまうどんぶり勘定で建設してしまう役場庁舎のようなふざけた箱物行政を行わない事と、そうなった原因訴求と責任者に対する賠償請求。
2019年度に役場の位置が一つになる。職員のみで各種業務等を行っていくのは、屋久島の地理上難しい面が多々あると思うので、集落の力を結集して、物事を進めていく事をもっとやるべきと思う。
暮らしやすさ
屋久島に移住したくなる魅力づくり
財源の有効活用方法について、まずパブリックコメントを募集し、協議、決定の状況等公開していったらどうでしょうか？(様々な意見からヒントを得る。)(既に実施していることであればすみません、良くわからないので・・・)
移住者対策。新しい考え方を考慮しながら共生していく。Iターンの方々に対する受入が、よそ者という扱い。もっと考え方を柔軟にすることを周知していく。難しいと思うけど・・・。
少子化対策・・・母子・父子家庭のみだけでなく、子育て世帯全般に平等に。
若者(高卒～20代・30代)の地元離れを最小限にとどめるための施策。
コミュニティバス等で生活の利便性を図り、住民自身が、自身の力で暮らしやすい環境を作ること。
企業誘致をする等、地元の子どもが1人でも多く就職できる環境づくりが最優先だと思います。
高速通信網の確立により、人の誘致を図る。
海上の時化による物資輸送の取組み。
人口減少を食い止めるために、若い世代が安心して暮らせるまちづくりには、農業指導者の育成と土地、家屋のしっかりとした把握も課題。
町政の情報公開を基本とし、議会の中継なども考え、オープンにすること。これにより、時間をかけてお互い話し合いの場を持ち、信頼関係を作ることが共働の基礎になるのではないかと。
空家の活用(賃貸促進等)

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思えますか？

観光に附帯する周辺産業の育成による雇用創出。例えば予約サイト運営、農業体験など。

Uターン、Iターン者や子供等を増やすために、雇用、所得等の向上

大企業・中小企業の誘致をすることで、財源の確保、個人の所得の向上、雇用の充実を図る。デメリットとして、自然環境の悪影響を及ぼすかも。

行政に頼らない地域づくり

人口減少や少子化は、移住者の受入がもっと広がったら解決するのではないのでしょうか。移住を考えている方たちから、よく家が見つからないという声を聞きます。空家などを整えて、有効活用できると良いのでは。

移住促進、インターネットブロードバンドの環境整備。子どものいる家庭への各種サポート。

世界自然遺産に相応しい自然環境と景観を保全しつつ、高速インターネット通信環境や、島内汚染を低減する電動移動手段(バス、タクシー等)断水無し、停電無しの安定したライフライン環境を整え、国内外の旅行者が訪れたい場所、移住したいと思えるまちづくり。

高齢者は健康寿命を延ばすことが大事。できれば地域社会での役割も与え、生涯現役を目指す。すたれてしまった日本古来の文化をもう一度掘り起こして、外資に頼らなくても完結できる豊かな生活レベルを創出していく事も大事。

お上は偉いというような意識を排除し、本質を追求する意識づくりがまず第一。実感でき、共感できるような施策にしてほしい。

人と人のバンド(絆)

人口が増えるために、若者が残るために、職場、働ける場所、楽しめる場所が増えてほしい。

若者が移住しやすい施策。小中学生の学習の補佐。先生のOBや塾の先生のOBによる補習など。

旧両町民の考え方が違う以上、向上は難しいと思う

猿・鹿問題。十分農業ができること。また、シカ肉等の活用。

強固な集落組織を作っていく必要があるのではないのでしょうか。自治組織に興味を示さない若い方々、Iターンの方々等の対応を含めて、考えていく必要がある。

町民一人一人がピンコロ(死ぬまでピンピンで働き、誰のお世話にもならずピンコロと死ぬ)を行えば、この目標の大半は達成できるのではないかと思います。一人一人が自分に合った心身の健康法を見つけ実践する。皆がそのように意識を高める。これが必要だと思います。

昔みたいに、世話役の人たちを集落で見つけ、婚活

出産～育児に関わる子育て支援の充実(学校教育の充実も含め)。いわゆる「箱もの」を作ること以前に！「人(町民)」への暮らしの利便性向上(医療費助成や就職・就学助成等)に投資してください。それが、少子化・人口減少の歯止めになると思います。

若い人が働きやすい場所にするために、住宅や雇用の場を広げていく。

屋久島出身者が代々住める産業の構築、高速通信を設置し、どこでも仕事ができる環境を整え、屋久島をどの場所でも住みやすい場所にする。

介護施設の充実をしてほしい。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？

屋久島の豊富な自然環境に適した施設として、「教育(大学等)」「研究機関」等をつくり、誘致し、屋久島で育つ子供たちの未来を確保する。

暖かい雰囲気「道の駅」で郷土料理をふるまったり販売したりして観光客の心をつかむ。(地元民と観光客が手づくりの郷土料理を通して、楽しく触れ合える場になってほしい。)

子育て支援のための施設整備。シルバー人材センターの設置。

人口減少は、若い世代が十分満足できる収入を得る仕事が少ないから。少ない収入でも満足できるような人たちも少なからずいて、そういう人たちが移住してくるとしても、それ以上に人口が減っているのでは、成立していない。どこに居てもそうだが、専業主婦が安心して子育てできる世にならないと、子どもは増やせない。

財源の利用配分の見直し

観光地としての更なる発展(人が集まることにより、住民の職場も増え、島外へ出る子ども達も働く場が増える。)高齢者の自立支援(高齢者が増えるのは当然だが、医療費が増えるのを抑えるには、健康に過ごしてもらう。)

町民一人一人が島を愛し、誇れる自覚と責任を持ち、自立して生きられるような環境づくり。

早いうちに屋久島⇄羽田間の飛行機を出せるようにした方が良いと思います。

雇用と住宅を増やし、若い人が生活しやすい環境づくりが必要。医療、通信、買い物等本土に比べ地域の格差を感じるので、少しでも解消されると良いと思う。

若者の定住促進(働くことができる職場、環境づくり)

町の事をしっかり考え行動、発信できる役場職員、町議会議員、町長等が屋久島にも必要。

特色ある集落づくり

3次、4次産業の取組みにより、島外流出を防ぐ。地産・地消の他、屋久島ブランドの取組み(農産品)。

人口増の対策と、高齢化対策。

自然と関連した専門分野に特化した大学/専門学校の誘致。若い人が増えることで地域経済が活性化してほしい。

限られた予算を効率的に活用するための行政が必要。議会が役割をしっかり果たすこと。特定産業への予算投資の転換の時期。子どもが島内に残らない現状を直視した上で、考える必要がある。

人口を増やすことを重点に考える。(運賃が安くなり、島外に気軽に行ける。)

町民でヒザ等下半身の悪い人が多いので、プールがあれば水中で歩いてヒザ、腰を強化できるよ。

財源を確保することが大事。クリーンセンター新設は全ての世代、そしてこれから育つ子ども達にも残せるものであることから、早急に取り組むべき案件だと思う。新庁舎建設よりも先に、こちらを手掛けるべきであった。

現役世代に負担のかからない仕組み。今あるものを大切に、無駄な公共事業はどの時点からでも見直す。

集落ごとの良さは残しつつ、自然と人の共存、「屋久島の素晴らしいところは人が住んでいながら自然が保護されていることだ」と言われたように、人、自然、生活、観光、企業を繋げていければ素晴らしいと思う。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？
若い人が地元に戻って来られるように、雇用を確保できると良い。
良さ、悪さを思い動く。人の力量を教育する。
地域に居住する住民の地域のあり方への関心を高める努力。自己中心ではなく、地域中心の考え方、居住宅の確保。
子どもの医療費、教育費等を無料や定住したくなるような助成金、個性的な政策、支援
議会は両町の利己的(選挙を意識した)な綱引きに左右されてはならない。大所高所から論議せよ。
少子は高校一つなので出ていくのは当たり前。大切なのは、その子が子を育てる世代の時に島に戻って来やすい環境を作ること。働く場所だけじゃなくて、屋久島にしかない子育て、学校の取組みとか、ここにしかないプレミアムを作るべき。
光回線を一刻も早く導入し、インターネット環境を整えることで、若い世代が島外に流出しないようにする。医師が島内に常駐(耳鼻科、眼科、整形外科等)することで、高齢者が不安なく島内にいられるようにする。
観光を基幹産業として雇用をさらに創出することで、Uターン、Iターン者を増やし、人口減少を食い止める。
屋久島は未だに時代遅れのADSL回線である。観光客が来島した時にまずネット回線の遅さにへきえきされている。ネットビジネスで移住希望の人は、ADSLのために移住をとどまっている。なぜに時代遅れなのか？
空家の利用、十分な所得、島に住む魅力、高齢者が活躍できる場づくり。
人材育成、幼児教育、負の連鎖に歯止め
将来予測を示し、行政からの情報を適時に伝達する。
I・Uターンの積極的誘致を施設、企業、屋久島町が共に考える機会を作ること。島をあげて取り組んでいく事で方策、アイデアがたくさん集まると思う。
限られた財源を今後も確保していくために、観光振興は重要です。ただ、住民の生活の向上と観光振興を一緒に考え、互いにシナジーを生み出す必要があります。観光の島としてだけでなく、暮らしても良い島と、観光客にも感じてもらえる取組みが必要だと考えます。
広大な耕作放棄地の再開発(農業中心)(食糧の自給自足、地産地消の推進)
それぞれの集落が活性化するには、その集落に住む人々の意見を集約し、目標を設定し、推進することが求められる。
人づくり、学習、学び、交流の場を作るべき
子供を産み、育てやすい環境を整える。地域全体で子供を育て、見守っていけるようなまちづくりを行う。
人口減少、少子高齢化が進んでいる集落の課題を理解し、行政だけでなく、町民が一体となって課題の理解を深め、取り組みを行うことが必要。そのためには、集落単位、または校区単位でも定期的に話し合いを行う場が必要なのではないか。
本土と同様の通信環境を取り入れることにより、様々な分野の、今まで離島だからという理由でできなかったものができる可能性が広がる。
こちらから聞きたい。庁舎に20億円以上もかけた分を福祉、教育にさせていただくと、保険料、教育費等税金が少なく暮らしやすいのではと思います。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思えますか？

移住を促す屋久島固有の魅力为全国、全世界に示す。「真の自然共生型エコタウン(世界的モデル)」を実現。優れた生活環境を求めた移住者促進による人口増&研修や視察の受入強化。有機農業への特化、優遇。生ごみ堆肥化によるゴミ減少。地杉を使った建築推奨。生分解性の高い洗剤使用の促進により、生活排水による汚染源。業者向けの環境基準を設け、クリーンな産業をサポート。

一昔前には移動販売の車が集落を回って、買い物に行けない人も助かっていたがそれが無くなり、ますます老人が取り残されている。また日時を決めてそういう車を出して、買い物難民を救ってほしい。

農家の収入が増えなければ人口の維持はできないと思う。高齢者でも作業できる品目の選定が必要かと思う。また、一次産品で出荷するのではなく、加工施設を整備して、付加価値を付けたものを販売するようにしたらと思う。又、今の加工施設を効率の良い物にしてほしい。

限られた財源というのであれば、くどいようですが、新庁舎への資金・・・、どうにかならなかったのか・・・。この枠内では書きづらく・・・。

移住者を増やす工夫、島内、島外の婚活のサポートを充実させる等

高齢者ドライバーが急増するであろう将来に備え、コミュニティバスを導入、町民、旅行者、共に利用できるようにする。

集落や住民ひとりひとりが行政依存でなく地域の問題を考えて、解決へ努力するような気運を育てる取り組み。

新たな産業開発への取り組み

官・民・学の話し合いの場を設けること。なるべく派閥、不公平が出ないよう、質の良い司会者をセットする。

企業、人材、人口を集めるためには、まず高速通信の整備は不可欠。出産から大学までの教育、それも先進的で国際的な環境をつくることで家族で住みたい自治体にすべき。

雨の日でも楽しめる施設づくり。海、山だけでなく里へ行きたくなる施設づくり。

島全体というのも良いが、各集落の特徴もあるので、期間を設けて、各集落で課題に取り組んでもらうのも良いのではないかと。各集落or各校区とか、どんどん範囲を広げてみてはどうか。

産院の充実。若者の働く場所。

人口減少に歯止めをかける事業

65歳を過ぎても働ける人はいっぱいいます。でも働くところが無いんです。(2~3時間のパートみたいな。)何か、週に2~3日でもローテーションで、屋久島町で何か・・・。

高額な税金の使い道を島民の理解を得るように透明な議会と分かりやすい町政の実行！

住みよい生活環境

青年教育の充実(少子化対策)。青年のふれあい(社交ダンス、ダンスパーティー)。

まちづくりを自分事と捉えるようにする。

若い人が出て行かない、子育て世代を町へよびこむための就労・起業の支援。教育、福祉支援、設備の充実。

団塊の世代が高齢化後に訪れる急激な高齢者減少への対応

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？
企業の創業、事業拡大の支援。定住できる住宅の整備。
屋久島らしさの追求のための確認、評価、目標を立てるための議論。
高齢者が(特に独居老人が)生き生きと生活できる環境づくり。(笑いある生活、孤独死を防ぐ。)
多様性を受け入れられる土壌づくり
屋久島に住む私たち一人一人が島の自然、文化、歴史を重んじ、後世に伝え、島の資源を大切に活用、保全することが大切だと思います。そのために、地域での人と人とのふれあいを通して、お互いの知恵や考えを出し合うことが豊かなまちづくりに繋がっていくと思います。
島内での雇用
雇用対策のためにも企画誘致を進める必要がある。
そもそも文脈がおかしい。子育て世代の働きやすい環境整備。(学童保育の充実など)公共施設の統廃合。小売事業所での買い物推進。(インターネットとの戦い)医療費抑制策。
通学路等の安全確保。夕方暗くなると歩いている姿が分からないことがある。街灯を増やした方が良いのではないかな？事故の減少や不審者等の発見に繋がると思う。安心して暮らせるのではないかな。空家を活用した移住体験。定額で数カ月を条件に実際に住んでもらう。
町内での雇用機会を増やし、町外から移住者を増やす。婚活パーティなど開催回数を増やす。
重点目標から何に取り組まなければいけないか分からないので、重点目標を分かりやすく書くべき。
あれもこれもと盛り込み、何にウエイトを置くのか分かりにくい。もっとシンプルでキャッチーな目標が良い。
若者が働く場所、雇用を増やさないと住人は増えない。ただ雇用の場を増やすのではなく、福利厚生、賃金が伴わないと働きたい人はいない。
若者が安心して生活できる町。
限られた財源で最大の効果を発揮する。
医療福祉の充実、適切な医療の提供をお願いしたいです。
集落の話し合いを作っていくこと。
産業をもう少し盛んにしてほしい
若い世代のUターン化
積極的な企業等の誘致。若い世代の積極的な移住受入計画の実施。
マンパワーや人材育成充実。
医療体制や福祉施設の介護力不足に力を入れてほしい。
加速する人口減少、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思えますか？
企業の誘致。子育て支援。
体力作りのためにも、自給自足の小さな家庭菜園等をやる高齢者クラブの活動。
若い人が屋久島へ移住してくれる人を増やす。移住者、居住者の住みやすい環境を整える。
高齢者が住みやすい町にしてほしい。
高齢者が住みやすい町にしてほしい。
ゲートボール場建設の中止。60歳以上の議員を減らし(議員の年齢制限)「若い力」を応援する。通信環境を整備すれば一気に色々なことが動き始めると思います。
ゴミ問題。段ボールや古紙のリサイクル、牛乳パック、トイレトーパーにして、町のトイレやボランティアをしたら1つもらえるなどしたら、活性化に繋がるのでは？
島内の産婦人科の向上、小児科医の常駐。子育て、出産をしやすい環境をつくってほしい。今のままでは不安。行政がもっと住民の声を聞く努力し、それに基づいて「町」を作っていくしてほしい。
町の医療費は年々増加し、病人も増えています。新の健康づくりには、食育の充実が必要です。(子供から大人まで、生涯教育として。)取り組んでほしいです。
人口減少を食い止めるための施策が必要。定住者支援のための整備等。
給与水準の向上、高齢者が活躍できる機会、バスの便数増加
集落の統合、行政の効率化(スリム化含む)企業誘致のための施策の検討
NPO法人等の育成。
子どもを産み育てやすいまちづくり。
各集落の祭りやイベントに職員も積極的に参加することが必要
高齢者のスキルを活かした働く場所、環境の整備。
無駄に高すぎる新庁舎建設で、夕張市のようにいつか破産してしまうのではないかと将来の見通しに明るいものが持てません。人口減少の歯止めの為には、若者は必ず出ていくのだから、外から入りたいと思う、住みたいと思う、子どもを連れて住んでも大丈夫だと何らかの制度を作り、予算をつけるしかありません。「人情豊かな」などという耳障りのいいけど只道徳心に訴えるだけの、中身のよく分からない目標では、イメージしにくいです。外から人が入ってこないところは、どこまでも閉鎖性を解消できず、かといって、内部から改革して開放的になることはさらに難しく、積極的に移住の促進をするだけでなく、移住先の集落にもきちんと説明や啓蒙をしていかなければ、閉鎖性に嫌気がさしてすぐに出て行かれてしまいます。
定年後や再雇用後の年代の雇用機会の拡充。船や飛行機の値段に少し補助をして、来島者を増やす。町ではなく県？国？
加速する人口減少
計画のみで満足するな、地道な実行。
一次産業と観光の運動、災害に強いまちづくり
人口増加、なるべく子ども達が島で生活できるよう、仕事ができるようなまちづくりを希望したいものです。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？

島外からの移住対策

集落に事業をつくって自分たちでまちづくりの予算をつくり、行政に頼らないまちづくりを目指す。

子どもを増やす。

働くところがなく出ていく若者を止められないのであれば、外から島へ入って来てくれるためにしていく対策に力を入れてほしい。

行政が協働する人情豊かなまちづくり

商店を増やし、お茶を飲んだりお話しする場所が欲しい。

屋久島の自然が好きな人が住む場所を探せるように、まずは古くから屋久島に住んでいる人たちのケアと、過去の産物のお掃除をしないといけないと思う。自然に行われることなので、あまり意識的に取り組むものではないとも感じている。

地域産業の育成と移住者増加への取り組み。

各地区公民館毎に住民(役員だけでなく)で話し合いを重ねていく事で、住民、皆が意識を高めていく。

行政が引っ張っていく事

先づは検証、反省。合併後の点検こそがスタート。

島外に住む人(I・Uターン者)や、今屋久島で暮らす高校生以下子どもたちが、屋久島に住みたい、帰りたいと思えるように、地域の文化や体験に参加できる仕組みづくりと、屋久島ならではの職業(開発や誘致)を増やす。

少子高齢化対策。※自然を活かした高齢者施設の充実と誘致。

特別な時だけでなく高齢者と子ども達がいつでも交わるような環境づくり

社会との接点が少ない人が多いと思う。もう少し老人を含めて社会活動に関心を持ってくれる人が増えてくれるといいと思うのですが、みんなの考えがよく分からないことが多いです。

人口減少と空家対策として、島外で災害を受けた方をもっと受入した方が良いのでは。公民館活動をもっと活かすこと。

住民ボランティア組織化、行政とのネットワークを構築すること

高校、専門、大学誘致、子育て助成、町内産業充実

寡婦医療費助成事業が平成30年3月31日で終了しました。「次世代を担う子ども達への子育て支援へ繋がっていきま」と文書には書かれています。矛盾していませんか。高齢化した寡婦には医療費の助成はできないということですか。文書は町長名になっています。

出産時のお祝い金を大幅に増額し、子育てしやすい環境を整え、人口増に取り組む。

行政依存からの脱却！

人口減少、少子高齢化

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問16

問16.重点目標「加速する人口減少・少子高齢化に備え、限られた財源で最大の効果を発揮し、住民、集落、行政が協働する人情豊かなまちづくり」について、この目標を達成する為に今後取り組まなければならないことは何だと思いますか？

今、いかに「節約できるか」ではなく、医療関係の人的費や質の高いものを選んで購入するなど、「長期的に運用した結果、無駄が減った」と思えるような予算の使い方。

住民、集落、行政が協働する・・・。

新しい人材確保、住宅問題、空家不足、低家賃不足。あっても貸したがらない、家賃が高くて借りられない等。

火山等である口永良部島の宝である温泉が災害等で大変なダメージを受けている状況と、本村温泉をいつまでも灯油で追い炊きするやり方を、もっと良い方法にすることなど、島の温泉施設を皆が安心して気持ちよく利用できるようにすべき。

現状を少しでも維持するのなら、人口減少を食い止める必要がある。人口減少が進めば現在ある施設や道路、システムなどあらゆるものが負担となり、やがて荒廃的な環境が世界遺産にも悪影響を及ぼす可能性もある。よって、今後はあらゆるものの基礎となる「人」に重点を置いて取り組みながら、早い判断でリスクを減らすことが大切と考える。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

・屋久島の健康保険税、介護保険料は高すぎます。運用がうまくないのでは。・電気が安定して供給されるよう、屋久電と配電事業者を交え、九州電力に請け負ってもらえるようになりませんか。・高齢者が増え、買い物弱者が出ます。コミュニティバスや配達の仕組みを生み出してほしいです。・光通信を早く整備してください。

10年後の畑作人口の推移は。耕作放棄地の減少のため、地域農業に取り組む。奄美等の離島間の船をつなげてほしい。

通学バスを何とかしてほしいです。

島外の若者の導入を考えること。そのために何が屋久島で必要か、行政の若い人に考える機会を。

まちづくりミーティングに中・高生を参加させたのは、すばらしい試みだった。

観光客(特に外国人)の事を考えて、県道沿いに無料WiFiを設置してほしい。緊急の連絡や宿への問い合わせなどに非常に困っている方が多い。町内・区内放送は本当に必要なことだけに絞ってほしい。外国人には何を言っているか分からないし、多すぎてうるさく、不安にさせてしまう。早朝の時報もうるさいと、ときどき言われる。

歯科医の予約が取れない状況です。緊急の場合はすごく困ります。新庁舎ができあがると各支所等空く状態になると思われるので、全国に呼びかけ、屋久島にない色々な(歯、リハビリ、眼科等)専門医を確保、賃貸してほしい。

外国人が多く訪れています。せめて空港・港は無料Wifiを入れてほしい。屋久島に入ったとたん、連絡不能になる苦情を聞く。早く光を入れ、通信速度を上げてください。観光業にしる農業にしる、ネットを使うことが多いのにつながらない、遅いことが非常に困っています。

観光振興として島内FreeWifiにする。路線バスの便数増(早朝と夜間)。西部林道ルート新設。

少子高齢化のため、高齢者の気持ちに答えたい気持ちは分かるが、子育てをしやすい環境、子供をたくさん産んでも良いまちづくりをしていただきたい。高齢者向けの福祉施策ばかりして、子育てをする住民が望む施策はほとんど作られていない。

島に生まれ育った人たちと、島外から移り住んだ人たちとの考え方に温度差があるように感じています。でも島外者を受け入れなければ人口は減少して集落を守ることができない。お互いの意見を尊重した話し合いができればと思います。

とにかく結婚したくても、できない人が多い。(特に男性)少子化対策は、ここから始まります。

観光に頼りすぎず、産業(農林水産)を振興させることに力を入れてほしい。若者の働きやすい島を目指してください。

島民が必要としている物、事に私たちの貴重な財源を使うべき！ムダ使いは、これ以上やめるべき！

若い世代の仕事が無い。家庭を持っても稼ぎが足らず、根を下ろせない、という不満の声を多く聞き、また、最終的には自ずと求めないところへ移らざるを得ない状況。これでは屋久島の将来は？観光産業もとても大切。ただし、一見の通りすがりのツーリストだけではなく、リピーターになり、屋久島を愛しみ、いずれは移住したいと思うような島の魅力を伝える取組みは絶対必要。

シカやサルは神の使いと言われています。大切にして、観光に活かしてください。癒しの島、屋久(薬)の島、神社や薬材も大切にしてください。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

田舎行政の象徴であるハコモノ行政からはきっぱりと決別し、財源を大切に～自分のお金のつもりで～使っていくべき。公共施設のメンテナンスもなってないので、そこまで考えた予算配分と責任をしっかりと考えてほしい。そこからすべてが始まっていくと思う。

最近、研修会、講習会等の開催で宮之浦、安房が中心となっている。南西部が参加できる方法を考えてほしい。大変不平等を感じる。

高齢化対策は、町が策定した32年度までの実施計画に基づいて検討しながら、一歩でも着実に進めてほしい。高齢者の知恵、知識、資金も活用して。

夕方以降インターネットが使い物にならない。致命的！早急に高速化を！

屋久島は離島ということもあり、低所得、高い物価(本土と比べて)、交通の便も悪い等、他市町村と比べて利便性の無さが目立つ。環境に重きを置いていることは理解しているが、少々の悪影響には目をつぶらなければならない時代が近づいている気がします。観光業だけでは難しい。それでも僕は屋久島大好きです！

物より人を、町より地域を

島外の方や外国の方たちから見ると、世界遺産の美しい島は、宝のような可能性がいっぱいの島です。外にうまくアピールすること、この素晴らしい自然環境を守り、島民の意識を高めることが必要だと思います。

若い世代へのサポートをすべき。ハード資産(建設等)は不要。

現在進められている新庁舎建設や宮之浦ゲートボール場建設は、税金の無駄遣いです。その財源を自然災害対策、高速通信網、水道電気等のインフラ改善、交通拠点の利便性向上、環境保全に使うべき。ハコモノ建築は、未来への負の遺産だと思います。

持続可能に発展するための自然との関わり方を世界に向けて情報発信していける島になってほしい。

屋久島町の計画とは、だれがどのように感じれば成功なのか、よく考えてやってほしい。成果を何で評価するのか明らかにして、案を提示すべき。

屋久島は物価高い。地産地消をもっと活用できないかなあ。役場など公共施設内でおじいさん、おばあさんが作った作物を売ってあげるのはどうでしょうか？野菜など、無駄にしてる人も多いよー。

カラオケボックス、医療からの昔来てたこじか号(移動バスの歯医者)の復活。

子ども達が学習やスポーツにもっと打ち込める環境。

人づくりが大切ではないか。人と人とのつながりが薄れていっていると思われま。

私自身、今までの生活習慣を改めなければならないと思っています。認知症対策には「心身機能活性運動療法」が有効ではないかと思えます。町はこういうものにこそ目を向けるべきと思えます。

大津波によって、口永良部島・屋久島の半分の集落が水没する大津波は絶対に来るので、命を守ることをしてほしい。

屋久島の貴重な自然は大事に！してください。将来、世界遺産からはずされるような無様なことにならないようにしてください。一度壊れたら、戻するのに100年以上かかると心してください。

同様の過疎地の成功例をもっと取り入れ、緊迫感を以て対応してほしい、遅すぎます。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

高齢者の運転免許返却の為、移動が不自由になり、屋久島から都会に帰る人が多いので、対策をしてほしい。

屋久島(永田)灯台を国指定文化財に！灯台敷地内で結婚披露宴。「新婚旅行を兼ねて」を旅行業界に。赤マット敷くだけで可能。

新設される庁舎内地の敷地には、軽く飲食ができる喫茶店などは入らないのでしょうか？明るく開かれた庁舎のイメージで、町民にも親しまれやすいと思います。また、職員の方々にとっても便利で働きやすい職場になるのでは？いまさら遅いですね。

人口減少による安易な定住促進(いわゆるUターン)は控え、町出身者のUターンに力を入れた方が良いのではと思います。

トロッコ。観光に活かしてください。

災害時の対処(どうしたらいいのか)が住民が不安に思っている。しっかりとマニュアルがあつたらいいと思う。

山小屋に管理人を置く。せめてシーズン中でもシカ。登山者向けにトイレの充実シカない。公衆便所で夜間閉鎖がある。恥ずかシカ。友人が二度度来ないと帰りシカ。

高齢者が安心して暮らせる環境づくりの充実。交通手段、買い物等々の生活支援。

地域住民への意識づけや啓発活動をもっと行うと良いのではないか。

財政難と言いながら、決めることはお金がかかるもの、お金を使うことなのはなぜなのですか？

各集落には、独自の文化、風習その他があります。それらを観光にする(里めぐり)中間、宮之浦、その他で行われている。そのための宿泊施設等を検討してみてもいい。

島でできる産業を町長・副町長が連れてきてほしい。集落で立案した事業に、補助金、建物等を作ってほしい。

表札を付けて防犯対策。

クリーンセンターの新設を一刻も早く手掛けてほしい。

ゴミ処理場がパンクしていると聞く。町としての対策、町民のできることを知りたい。町報と一緒に配りもの、重複しているものが多い。各組織で調整し、配布物を減らし、配布係の手間軽減を指導してください。

なかなか行けないけど、1度は必ず行きたい島、一度行ったらまた行きたい島、住みたくなる島へとなるような屋久島へなっていけばいいと思う。ここは路肩が狭すぎ、レンタカーバスも走りづらく、駅伝などでの渋滞も起きるので、路肩かサイクリングロードがあれば、事故も減ると思う。郷土芸能も活かしたらと思う。

財源の使い方をもっと考えてほしい。

施策を思考するとき、連動した施策の立案、実施に取り組んでほしい。

子育てしたくなる環境、また、高齢者にも優しい屋久島であってほしい。

役場職員は常に研修に努め、行政末端で正義を貫け。

何十年先のことを考えると、子や孫の事を考えるべき。帰って来たくなる所へ。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

公道での喫煙、歩きタバコ、一般家庭でのゴミ燃やし、を厳しく取り締まってほしい。観光及び自然遺産を強みとしている島なのに、受動喫煙について対策されていない事、環境対策がされていないのはゆゆしき事態であると思う。

早急に光通信を導入してほしい。空港もジェットが発着できるようにしないと屋久島はどんどん廃れていく！

タバコ、ゴミ、空き缶、不法投棄の問題は徹底してほしい。釣り人のゴミ捨てが特にひどい。

屋久島町住民になって思うのは、せっかくの楽しそうな講座もほかの行事と予定がだぶったり、終わった後だったりすることが多いと感じています。どっかでこれらを一括で見えるHPでもあればいいのになあーと感じています。

町政に新しい、今までとは違う、考えの人材投入が必要。議会だよりを読んでいると、不透明なことが多い。

観光客に暮らしても良い島、というイメージを持ってもらうことは、移住者の促進や関係人口の増につながると思います。住民の声を聞くことも必要ですが、現状に慣れ過ぎている部分もあるので、観光客の外からの目で見える屋久島の欠点を、住民の生活向上と併せて問題解決していく事が大切だと思います。

食料が自給できなければ生存できない。フェリーが欠航すると食料が不足するような食糧基盤の脆弱な屋久島。自分の食料は自分で作る。農業人を育て、増やす施策。自然や世の中は変わる。観光中心の生き方では島の未来は危ういと思います。縄文杉がいつまでもつか。自然遺産の場所は増えつつある。奄美大島が登録されたら登山客だけになるのでは・・・、心配です。

例えば安房港の修築工事が進まない。未だ完成港ではないのである。安房地区内に道の駅を造ったら、スタレが少しでも解消できるのでは・・・。それも、駐車場の確保が必要か。総合センターの緞帳、エアコン、音響などは修復の予定はないのか。

中心地(宮之浦や安房周辺)に人が集まるのはいいことなのですが、一方で宮之浦より北の集落、また栗生方面の著しい人口減少をどうにか和らげたい。過疎化集落を助ける施策があれば。

通信のインフラを整備しておけば次世代の屋久島で暮らしが人口減少、少子高齢化であっても今より良くなる工夫ができると思います。

1つ選べの質問でいいんですか。町長はじめ、職員の皆さんの公平、行政のあり方の検討と、健康維持の町行政をお願いします。子を育む、人が宝になりますように。

移住して3年、住みだす前に感激した奥山の深い自然への印象とは別に、生活環境における住民の自然の接し方には多くの課題があると感じています。「今までのやり方」を変わず続けていたら、未来に残るのはどうなるだろうという不安を覚えざるをえません。ちゃんと今を見直し、自分たちが変わるべき事、町・コミュニティで取り組むべき変革に地道に取り組んでいくべきです。

人々の生活に必要な買い物の充実と、医療体制を充実しえ散れば、住みやすい島になると思う。

貧困を理由に進学をあきらめる子供が増えていると聞きます。観光振興に向ける予算を少しでも、返還不要の奨学金に充てられればと思います。

このアンケート用紙の印刷が表と裏で異なっています。とてもつかいづらい・・・。こうした小さなことをできない、気がつかないのでは町民の為の仕事が進むとはとても思えない。しっかりしてください。

なぜ、屋久島町まちづくりミーティングの日時や場所がホームページや町報、町内放送で流れないのですか？

屋久島高校にIBディプロマコースを新設。インターネットを使った高度な授業を世界中から受けられる、ITを使って環境その他の高度な研究者が集まれる拠点を作るなどして、環境と技術と教育の島にすることで、国内外から移住や人材を集めるためにすることで人口減少を食い止め、世界の注目を集める島を目指すべき。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

楠川温泉を大きくする。横峯遺跡の施設づくり。

環境や商業に力を入れているといわれるが、観光場所だけでなく、島全体を整備してほしい。普段人の通らない道路は草が伸び放題、定期的に刈られているが、伸びきってからでなくいつもきれいに手入れしてほしい。車で通っても荒れて、さびれている感じがする。

このアンケートの集計した内容の公開を希望します。

合併しても何も変わらないし、税金の無駄遣いをするな。一住民。

高齢者バス利用特例制度があるので、バスを利用しやすいように運行会社に低床バスを導入してもらおう。バス停は段差をなくすような作りにし、高齢者が乗り降りしやすいようにできれば、利用者も増えるのではないか。

通信網の整備だけは実施してほしいです。

町、区、個人がすべき役割を明確にした方が良い。区が町政に口を出したり、町が個人の件をかまったり、おかしいと思う。

台風等で外れた看板の素早い修理。初めて来て、看板が外れていると残念だと思います。

バスの時間の変更として、午前11時か12時台で1回運航してほしいです。買い物が不便です。よろしく！

自然、災害対策の取組みはどうなっている課。台風後、災害がそのままになっている道路があります。生ごみ袋が良くなりました。ありがとうございます。

災害の道路整備のあり方について、写真撮ってもらいましたが、結果そのまま整備できるのか予算が無いのかわかりません。怪我しそうです。

10年後はどうなっているかわかりませんが、屋久島でありながら、上屋久、屋久の差が少し気になる。

里道の整備。(車が通れる道。)大雨時水の流れを確認してほしい。(水路の設置)

自然の屋久島を愛する人たちに対しても大事ですが、地元私たちの生活が安心して暮らせるように。

いろんな料金が高すぎる。島なのに。

限られた財源なのに、建設中の庁舎はぜいたくすぎるのでは。

福祉も大事ですが、その福祉を支えるのは若い世代。若い世代(30～50代の働く世代)を苦しめる政策、事業をゼロにしてください。

アンケートなどの実施ありがとうございます。幅広い層とある程度的人数で、オープンにまちづくりミーティングを行ってほしいです。

新しい「建物」「施設」を作るのではなく、あるもので工夫して島を活性化していく考えをもってほしい。すぐ何か新しい物を作ってどうなるのか…。先を考え、無知なまま先走ってほしくないと思います。

少子高齢化により、農地は年々耕作放棄地が増えています。町でも新規就農者と後継者育成に力を入れ、食料の自給率を高める必要があります。地産地消の体制づくりにも！

子ども達が雨の日に遊べる場所が欲しい(宮之浦に予定されている屋根つきゲートボール場など、使わない日は開放してほしい。)白谷雲水峡、ヤクスギランドの入山料を島民無料にしてほしい。(地元の山に気軽にいきたい。)

高速通信網の整備は早くしてほしいです。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

民間が行う事業の支援。

経済的においしいところ、また、子ども達が次世代を育てる上で屋久島らしい特徴ある自然環境教育が受けられる、又、僻地であっても図書館や文化事業を充実させることで、基礎的な教養面でもさほどのマイナス面を持たない・・・など。働く世代が魅力的だと感じられるハード面やソフト面を充実しなければ、移住者の獲得とその定着は難しいのではないかと思います。高いイスなどを買って新庁舎を豪華にしている場合ではないと思います。少なくない住民があきれ返っています。

路線バスの増便、新本庁舎への無料送迎バスの運行など、移動手段の利便性の向上。子育て世代の就業への理解、機会を向上すると良いと思います。

高見のみを望むな、先づ足元から、分相応。

空家対策、利活用。

地域の清掃、区長の呼びかけ良いことです。

永田には素敵なにぎわい広場公園があります。観光客の方もよく弁当を食べたり休んでいます。いつ見ても草むらの状態です。屋久島世界遺産の恥と思う。公園にもう少し力を入れてほしい。

人間が屋久島に出来ることは少ないです。できることなら、今まで多くの恩恵を授からせていただいた屋久島の自然そのものに恩返しできるような気持ちでことを進めてもらえるとありがたいです。

年を追うごとに災害が大きく、又増えています。いつもどこへ避難するのか不安です。ぜひ、地区ごとに安心できる避難施設を作ってください。

行政ががんばっていく事

行政の住民不信。住民の行政不信を先づ解消する努力をしましょう。

小学校や中学校が統合してしまうのは、今のご時世仕方ないとしても、全てを一極に集中させる事だけは、しないようにしてほしい。過疎化に拍車がかかるので。

Uターンしたくなる環境づくり。仕事、こども。

観光に力を入れるよりも先に、地域住民や移住者増加のために財源を使ってほしいです。

政策が言葉だけで、実施に移らない。

皆で社会参加する機会が増えると良いのですが。

高齢者の路線バスの年間フリーパスが出来ましたが、バス利用時足の不自由な方はバス停までの移動が難儀しているとの声が多くあります。バス停レスを希望。県道沿いの支障木がバス等大型車の通行に支障をきたしています。また、観光客にも悪い印象を与えています。幹線道路の環境整備を希望。

昨年、10月に県道が通行止めになりました。5分で行けるところ、15分かかり、帰りも迂回路には外灯が無く、怖い思いをしました。(仕事時間30分短縮してもらいました。)土砂の取り除きを遅くまで、日曜日も休まずやっておられました。(民間の会社の方々)その間も豪華な庁舎はかわらず建設していました。災害復旧を優先させるべきではありませんか。庁舎建設の為税金を上げたのですか。

屋久島町振興計画 住民アンケート結果
問17

問17.その他御意見、ご要望があれば、自由にお聞かせください。

フェリー太陽の乗船名簿に利用目的を○する欄があれば良いと思います。少し様式を変えるだけで、年間の観光者数も、噴火時の非住民数も把握でき、観光や防災に役立つのではないのでしょうか。口永良部島側の窓口は既に手一杯のようなので、屋久島側で統計してもらえれば助かります。

少子高齢化、マンパワー不足、医療の問題は、離島、へき地が抱えていることで、そのことに頭を悩ませ、空回りの日々のような気がします。まず、今現在住んでいる住民が、少ない人口でも充実した幸せな生活ができないものかな？と思う。結果、その事に魅力を感じて帰ってくる若者、移住者が増えれば良いと思う。とても時間がかかりそうだけど・・・。

このアンケートがどれほど効果があるのか疑問。けれども無理だから書いても意味がない・・・、とはせず、一応書きました。

何といってもマンパワーが欲しいです。私たち一家族が唱和48年にIターンしてきて3人の子どもを育て、現在10人の孫が成長をしている。それも元気に！楽しく！日本中の若い人に伝えたい。小さな島の大きな幸福がある豊かな時間が生まれます。